

JLCC 授業シラバス

講義コード	JC202
講義科目名	日本人と和菓子
開講年度	2020
開講学期	春～夏学期
曜日時限	
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	脇坂 真彩子
使用言語	日本語
教室	センター5 号館 5701
授業概要・目標	和菓子は日本人にとって、生活に潤いをあたえてくれる、身近なものである。季節や年中行事と深く結びつき、現在に至るまで日本人の生活の一部になっている。その歴史は上代に遡るが、時代ごとの人々の生活の変化や外国文化との交流の影響を受けながら発展し、現在に至るまで人々に好まれている。この授業では、1) 和菓子の基礎知識、2) 和菓子の歴史、3) 現代社会における和菓子の挑戦という3つのテーマを軸に学ぶ。そして、これらの知識を踏まえ、受講生自身が自文化を振り返りながら、和菓子の今後の発展について考える。
授業形態	1. 講義・演習 2. グループディスカッション 3. グループ発表 4. 実習
履修に関わる注意事項	課題やレポートは期限までに提出すること。 食物アレルギーがある人は必ず知らせること。
授業計画	第1回目 オリエンテーション 第2回目 和菓子の分類 第3回目 季節と和菓子 第4回目 年中行事と和菓子 第5回目 和菓子の五感・菓銘 第6回目 和菓子のモチーフ・文様 第7回目 和菓子実習 第8回目 和菓子の歴史①古代 第9回目 和菓子の歴史②中世 第10回目 和菓子の歴史③近代 第11回目 受け継がれる伝統：「たねや」 第12回目 老舗和菓子屋の挑戦：「聖護院八つ橋」

	<p>第 13 回目 新しい和菓子屋の発展：「叶 匠壽庵」</p> <p>第 14 回目 和菓子実習</p> <p>第 15 回目 発表・まとめ</p> <p>予定は、受講生と相談の上で変更することがあります。</p>
テキスト	なし。プリントを配布する
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青木直己（2000）『和菓子の今昔』淡交社. 2. 川端道喜（1990）『和菓子の京都』岩波新書. 3. 中山圭子（1994）『和菓子ものがたり』新人物往来社.
成績評価	<p>クラス活動、各回のコメントシート（300 字程度）、グループ発表とレポートに基づいて評価する。</p> <p>クラス活動 10%</p> <p>コメントシート 50%</p> <p>グループ発表 20%</p> <p>レポート 20%</p>
学習相談	授業の前後またはリクエストに応じて対応する。
その他 （自由記述欄）	